

## 令和6年度葛飾区行政評価委員会 議事要旨

|         |   |
|---------|---|
| 会 議 名   | 葛飾区行政評価委員会 第1回全体会   |
| 開 催 日 時 | 令和6年7月5日（金） 午前10時から12時まで  |
| 開 催 場 所 | 葛飾区役所新館5階 庁議室   |
| 出 席 者   | 【委員16人】<br>大石会長、小松原委員、鈴木委員、堀越委員、折登委員、<br>水摩委員、唯根委員、倉持委員、上村委員、齋藤委員、<br>高橋委員、千田委員、中山委員、前田委員、皆川委員、<br>山口委員<br>【区側10人】<br>区長、事務局（政策経営部長、経営改革担当課長、事務局職員<br>7人） |

### 会議概要

#### 1 開会

#### 2 委員委嘱

（区長より各委員に葛飾区行政評価委員会委員を委嘱）

#### 3 区長挨拶（要旨）

行政評価委員会の委員を委嘱させていただいた。行政評価委員会制度は、平成14年度に開始し、今年度で23回目となる。毎年様々なご意見をいただき、区政に反映させる取組を進めてきた。これまで、一年で多くの事業を評価していた時期や区政の基本的な方針・方向性に関わる評価を行っていた時期もあるが、現在は、具体的な事業に対して深く議論していただき、意見を区政へ反映する進め方を採っている。

現在、葛飾区の人口は46万9000人に達し、高齢の方、若い方、女性、男性、障害のある方などがいる。そうした方々の困りごとや区政に対する意見・要望を聞き取りながら、区が将来に向かって発展できるようにしていきたい。

自治体間の競争は既に始まっており、多くの人に住んでみたい、住みやすいと思ってもらえるような取組を進めていく必要がある。葛飾区は総人口も生産年齢人口も増えているが、子どもの数は中々増えておらず、合計特殊出生率を増やしていきたいと考えている。こうした状況を踏まえた上で、未来の葛飾

区のため、区民の声を聴き、将来を見通して方針を打ち出し、区民の理解を得ながら、区民と共に力を合わせてより良いまちづくりを進めていきたい。

防災・防犯、高齢化対策、少子化対策や産業振興などは区民の関心が高く、今回評価対象事業に選ばれている耐震診断の関係、子ども・若者支援、学びの機会や事業承継といった内容に対し、皆様の意見を聞きながら検討できるのは非常に良いことだと考えている。委員会に参加する皆様には、それぞれの立場・考え方で活発な議論をお願いしたい。

#### 4 要綱説明

事務局より葛飾区行政評価委員会設置要綱について説明

#### 5 会長挨拶

#### 6 委員紹介

会長より委員の名前、選出区分、所属分科会の紹介

政策経営部長挨拶

事務局職員紹介

#### 7 行政評価委員会の運営方法について

会議の公開

会議の記録の公開

委員の名簿の公開

今後の日程について

#### 8 行政評価委員会の概要について

(事務局及び大石会長より行政評価委員会の概要について説明及び質疑応答)

会 長：各分科会が評価する各事業の資料4-⑦「葛飾区基本計画における施策体系」における位置付けを伺いたい。

事 務 局：「事業承継支援事業」は、政策18産業の施策02経営支援、「民間建築物耐震診断・改修事業」は、政策14防災・生活安全の施策01防災街づくり、「子ども・若者支援体制の充実」は、政策08子ども・家庭支援の施策05子ども・若者支援、「学びの機会の充実」は、政策11生涯学習01区民学習である。

会 長：事務局から説明のあった政策・施策の体系を理解した上で、評価に臨んでいただきたい。

A 委 員：来週から分科会における議論が開始されるが、資料は本日事前配布さ

れているものが全てか。例えば、事業承継であれば、事業所の概要や業種、セミナーの参加率といったデータはあるのか。

会 長：基本的には配布された資料を使用するが、質問を受けて資料を追加することもある。また、事業について所管課が説明するため、その際に質問をしていただければ良い。

B 委 員：過去の答申では、非常に多くの提案が記載されている。答申内容は、委員が作成したものか。分科会の意見をまとめたものか。

事 務 局：分科会における意見・議論を踏まえ、事務局が作成したものである。

副 会 長：答申に記載の取組は、全て議論の中で上がった意見をまとめている。

C 委 員：区民目線で気が付いた点、素朴な意見を言っていただければ、会の中でまとめていく。

D 委 員：答申内容には実績と今後の方向性があるが、議論する時間のバランスについての想定はどのようなものか。

会 長：どちらも答申の構成する大切な要素であり、バランス良く議論していくことを考えている。

E 委 員：昔は委員会での議論の結果、廃止と結論付けた年度もあったが、現在の委員会では廃止ではなく、事業の改善を目指していくといった理解で良いか。

会 長：そのとおり。

## 9 分科会別打ち合わせ

(分科会ごとに分かれ、自己紹介と日程の確認)

第一分科会において取り扱う「民間建築物耐震診断・改修事業」について、議論の時間を拡大するべきではないかとの意見があり、事務局持ち帰りの上、資料3—①の日程を修正した。(第2回分科会の議題に「民間建築物耐震診断・改修事業」を追加)

## 10 その他

(事務局より事務連絡)

## 11 閉会